

# 平成 30 年度 第 1 回 明石市財政健全化推進協議会

## 議事録

日時 平成 30 年 7 月 26 日（木） 10:00～11:00

場所 議会棟 2 階大会議室

明石市

## 次 第

### 1 平成 30 年度の体制について

### 2 あいさつ

- (1) 千住座長
- (2) 森本副市長

### 3 出席者自己紹介

- (1) 市議会・・・山崎委員より順に
- (2) 市行政・・・和田副市長より順に

### 4 議事

- (1) 財政健全化の取り組み状況及び平成 30 年度の取り組みについて
- (2) 本年度の財政健全化推進協議会の進め方について

### 5 その他

#### 【資料】

- 資料 1 明石市財政健全化推進協議会設置要領
- 資料 2 明石市財政健全化推進協議会 委員名簿
- 資料 3 財政健全化の取り組み状況及び平成 29 年度の取り組みについて
- 資料 4 公共施設配置適正化実行計画に沿った取り組みの推進について
- 資料 5 市有施設・土地活用に関するサウンディング調査の実施について
- 資料 6 平成 30 年度の財政健全化推進協議会の進め方について

---

出席者 委員 市議会側  
千住座長、山崎議員、松井議員、永井議員、宮坂議員

委員 行政側  
森本副市長、和田副市長、北条局長、宮脇政策局長、岸本総務局長  
中島総務部長

委員以外の出席者  
島瀬総務管理室長、箕作財務室長、横田企画部長、久保井職員室長、松永財政健全  
化担当課長、林施設包括管理担当課長

傍聴者 市民 1 名

## 1. 平成 30 年度の体制について

財務室長より資料 1、資料 2 について確認

## 2. あいさつ

### (1) 千住座長

座長：本年度も当協議会で財政健全化に向けて協議していくこととなった。私も含め、新任の委員もいるが、協議会としてはこれまで議論を積み重ねてきたところであり、その継続性を大切にして皆さんの意見を集約していけば、必ず将来に向けて花開くものと考えている。財政健全化をすすめていく。一方で、財政健全化には、歳出を削るばかりでなく歳入を増やすことも重要であるなど、様々な角度からをとらえて議論を進めたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

### (2) 森本副市長

森本副市長：近年、明石市は、人口増や路線価の上昇、税収の増等、好循環が生まれてきている。また、今年度から中核市に移行し、来年度には市制 100 周年、明石城築城 400 周年を迎えるなど、市としての節目の時期も迎えている。こういった明るい話題を今後もつないでいきたい。一方で先日もあった豪雨等に備えて老朽化したインフラへの対策も必要であり、また今後、J T 跡地活用、西明石の再開発、庁舎建替等大きな事業が控えており、これらを進めていくためには、継続的な財政健全化の取り組みが欠かせない。ただ、歳出を削るだけでは、限界が見えてきており、公民連携等、新たな仕組みの中で市民サービスを考える必要がある。そのような中で市議会各会派からの提案も引き続きお願いしたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

## 3. 出席者自己紹介

## 4. 議事

### (1) 財政健全化の取り組み状況及び平成 30 年度の取り組みについて

松永財政健全化担当課長より資料 3、資料 4、資料 5 について説明

座長：ただいま、説明のあった件について、何か意見や質問があればお願いしたい。

委員(議)：資料 3 「財政健全化の取り組み状況及び平成 29 年度の取り組みについて」の 2 (1)②人件費の削減について、職員数が減となっているが、国県等から派遣職員を含めても減になっているのか？資料にある 1,910 名に含まれているなら、内訳等も教えて頂きたい。

出席者(行)：国交省等外部等から派遣されている者も 1,910 名の中に含まれている。内訳と

しては、国から 5 名、県から保健所・産業廃棄物の関係で 9 名、警察から 1 名、土木 1 名の計 11 名、民間企業から 2 名の派遣を受け入れている。

委員(議)：わかりました。次に資料 3 の 2 (2)②施設の見直しについて、産業交流センターが中核市移行に伴い、保健所になったが、1 階の多目的ホールの利用はどうなるのか。

出席者(行)：1 階の多目的ホールの利用について、今年度までは従前通り利用できる。来年度以降の詳細な活用については検討中だが、保健所の建物となるので、地域住民の利用については可能としても、営利目的の利用は、法律上難しいのではないかと聞いている。

委員(議)：これほど広い多目的ホールは東播地域では他になく、営利目的の利用については、通常の 2 倍の料金で利用してくれており、市としてもメリットがあったように思う。利用できなくなった場合、市として代替施設の提供等なにか考えているのか。

出席者(行)：所管課からは、今まで使っていた企業や団体には、明石駅前再開発ビルの市民広場や大久保駅南のショッピングセンター内の催し物会場等を案内していると聞いている。

座 長：他に、意見や質問はないか。

委員(議)：中核市移行により、事業が増えるため正規職員 1,800 名体制の目標はやめるのか。また、任期付・臨時・再任用職員がかなり増えており、これらの人数も資料に記載すべきでないのか。任期付等職員なしには成り立たない職場が増えて中、彼らのモチベーション等をあげるため、どうするのか。

出席者(行)：1,800 名体制は、各職種の職員数のバランス等を見ながら、中核市移行に伴う職員増も踏まえつつ、最終的な目標として維持していく。任期付等の人数の記載については検討する。

委員(議)：中核市により 2,000 もの事業が移行された。保健所だけでもかなりの職員増になる。働き方改革が進められている中、1,800 名体制の目標を維持するのか。

出席者(行)：中核市移行に伴い専門職等の採用増が必要になる分野もあるが、財政健全化に向けて、仕事の進め方、時間の使い方の見直し、既存事業の縮小・廃止等、工夫しながら最終的には 1,800 名体制を考えている。その中で任期付等職員にも頑張

ってもらっており、これらの職員の力も借りながら市民サービスの維持・向上に努めていきたいと考えている。

委員(議)：会計年度職員の制度が平成 32 年度からスタートする。臨時の保育士や幼稚園教諭等について、同一労働同一賃金としていく必要があると考えるが、市ではどう考えているか。

出席者(行)：平成 32 年 4 月から施行される制度であり、他自治体の動向等も踏まえながら、本市にあった制度設計ができるよう、現在、検討しているところである。

委員(議)：職員数がここまで減ってきて、年齢構成も若年層が少なくなっている状況で災害の場合の対応に支障は出ないのか。

出席者(行)：職員採用にあたっては年齢構成も踏まえ、関係部署とも相談して職種ごとに必要な採用数を決めている。また、災害等の要素も考慮して総合的に判断しているところである。

委員(議)：今後とも、市役所の仕事の内容を見直しながら人員を削減していくことは、必然だと考えるが、それだけでは財政健全化を果たせないなので、施設の見直し等の議論を積み重ねてきたところである。人員配置について言うと、正規職員より能力が高い任期付職員の話をよく聞く。任期付職員が安い給料で成果を大きくあげ、正規職員が効率悪く、高い給料をもらっているのでは、モチベーションも上がらない。バランスがおかしいので是正して頂きたい。能力の高い任期付職員を正規職員に登用することも考えられる。見解は特に求めないので、今後、この問題について取り組んでいただくようお願いする。

委員(議)：高齢者ふれあいの里のお風呂について、過去に事故になりそうな事案があったと聞いた。施設自体も古いため、まず風呂から見直していけば修繕料や委託職員の削減等につながるのではないかと考えるが見解はどうか。

出席者(行)：現在、風呂は週 2 回実施しているが、ボイラー設備等、一定の維持管理費がかかる設備なので、所管課としても風呂を含めて今後の見直しを検討しているところである。

委員(議)：風呂の廃止も含め、検討をお願いする。また、時間外の削減状況はどうなっているのか。

出席者(行)：平成 29 年度で 19 万時間の時間外を行っており、平成 17 年と比べると 40%の減

となっている。

委員(議)：時間外勤務の申請を行いにくい環境になって、サービス残業につながることは避けてほしいと考える。また働き方改革関連法に時間外勤務の上限規制が盛り込まれた。これに沿った対応ができるよう業務の見直しを進めてほしい。

座長：財政健全化推進計画に掲げる目標は、これまで議論を積み重ねてきた上で設定されたものなので、目標の見直しの議論も必要かもしれないが、基本的には目標の達成に向けて、何ができるのかという方向で、議論を進めていきたいと考えているのでよろしくお願いいたします。

(2) 本年度の財政健全化推進協議会の進め方について  
松永財政健全化担当課長より資料5について説明

座長：ただいま、説明のあった件について、何か意見や質問があればお願いしたい。

委員(議)：資料6「1 本年度の主なテーマ」に記載はないが、広域化、広域連携についても重要な論点として検討したいと考えている。参考資料についても広域化、の事例も含めて提供いただきたいと考えているが、事務局としてはどうか。

出席者(行)：広域化についても財政健全化に向けた重要な論点のひとつと考えている。参考資料についても広域化の事例も含めて提供させていただく。

委員(議)：主なテーマにも挙がっている事務事業の見直しを進めていく必要があると考えているが、現在、事務事業の見直しについてはどういう状況なのか。

出席者(行)：平成25年度に本協議会で集中的に議論して事務事業の見直しを行い、当時約8,000万円の削減につながった。その際の見直しについては段階的に見直すものもあり後年度にわたって効果を生み出している。それ以降は、本協議会で議論いただいた趣旨も踏まえて予算編成の中で随時見直しを行っている。また、本協議会では昨年度から各会派から提案をいただいているが、その中で新たな視点をいただければ、それも踏まえて見直しを行っていききたいと考えている。

委員(議)：職員、市民に見える形で事務事業の見直しを行っていききたいと考えているのでよろしくお願いいたします。また、介護保険法の改正に伴い介護予防・日常生活事業が昨年度からスタートしたが、有償ボランティアを活用するなど市民力を結集し、地域力アップにつなげてほしい。

出席者(行)：介護予防・日常生活事業に関する詳しい議論は、本協議会の範疇ではないが、公共的事業に有償ボランティアを活用するといった取り組みはまさに公民連携といえる。そのような取り組みを各会派から提案いただければありがたい。

座長：それでは今後の進め方としては、広域化、広域連携等を含めた様々な財政健全化のテーマをについて各会派から提案いただく形で進めていくこととする。参考資料として先進自治体の事例の提供を受けたうえで、9月から10月にかけて各会派内で議論いただくこととなるのでよろしくお願ひしたい。

## 5. その他

座長：何か意見があればお願ひしたい。

【意見なし】

座長：次回の開催日程については10月頃を予定しているが、後日調整させていただきたい。以上をもって本日の協議会を終了する。

閉 会